

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成31年02月04日

計画の名称	道路ネットワークに資する市街地交通対策												
計画の期間	平成30年度～令和03年度(4年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	福岡県												
計画の目標	鉄道を連続立体交差化することにより、交通渋滞及び踏切事故の解消を図る。また分断された市街地を一体化することによって、土地の利用価値を向上させ、都心活性化を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	21,986	A	21,986	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H32末)	最終目標値 (H33末)
1	西鉄天神大牟田線(雑餉隈駅～下大利駅)の踏切により遮断される交通量を49万台時/日から0万台時/日へ削減する 西鉄天神大牟田線(雑餉隈駅～下大利駅)の踏切遮断交通量の削減 春日市、大野城市の西鉄天神大牟田線に設置されている踏切の遮断時間に交通量を乗じることにより算定	49万台時/日	0万台時/日	0万台時/日
2	西鉄天神大牟田線(雑餉隈駅～下大利駅)の踏切により遮断される交通量を49万台時/日から0万台時/日へ削減する 西鉄天神大牟田線(雑餉隈駅～下大利駅)の踏切における事故の削減 踏切事故における経済損失を費用便益分析マニュアルに沿って算定	988百万円/10年	0百万円/10年	0百万円/10年
3	西鉄天神大牟田線(雑餉隈駅～下大利駅)の踏切において発生する事故による経済的損失を9.9億円/10年から0億円/10年へ削減する 連続立体交差事業の事業進捗率 福岡市と連携し整備を行う連続立体交差事業の事業管理における事業進捗率を算定。	82%	97%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																		
道路事業	A01-001	街路	一般	福岡県	直接	福岡県	S街路	改築	西鉄天神大牟田線 (春日原～下大利)	連続立体交差 3.30km	大野城市、春日市	■	■	■	■		21,986	1.1	—	
											小計						21,986			
											合計						21,986			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02		
配分額 (a)	3,713	6,411	2,370		
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	3,713	6,411	2,370		
前年度からの繰越額 (d)	0	1,164	3,139		
支払済額 (e)	3,273	4,436	4,244		
翌年度繰越額 (f)	440	3,139	1,265		
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

全体事業費や事業実施期間は計画期間内における数字であるため、必ずしもそれぞれの事業個所全体の数字と一致しない。  
また、予算確保の状況や用地買収の進捗などによる変更が生じるため、整備計画は随時見直しを行っている。

参考図面（社会資本整備総合交付金）



